

第8回

ホームホスピス実践者育成塾



一般社団法人 全国ホームホスピス協会

2024年7月13日(土)-14日(日)
於) くまもと県民交流館 パレア



実践者育成塾は、ホームホスピスの理念の共有とケアの向上を目指して毎年実施している研修会です。ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフ、ホームホスピスの学校の受講生、またホームホスピスに関心がある、開設したいという方を対象にした現場重視の実践的な学びの場です。

今年は1日目のテーマを「一人ひとりの生活のリズムを整える」とし、「最期まで口から食べるを支える」口腔ケアと「自然な排便習慣を大切に」排泄のケアを学び、その後、参加者はテーマごとに5つに分かれてグループワークを行います。

2日目は、「いまホームホスピスに求めるもの」をテーマに、令和のドクター・コトーこと下甕手打診療所の二代目所長・室原誉伶医師の講演、つづいて高橋紘士氏との対談です。

日頃のケアにすぐ活かせる内容です。たくさんのご参加をお待ちしております。

●日時：2024年7月13日(土) 13:30～17:30 (13:00より会場受付開始)

14日(日) 9:30～11:30

●会場：くまもと県民交流館パレア9階 (熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル9階)
会場参加とZOOMを用いたオンライン配信。

：13日交流会 BUNZO (熊本市中央区安政町2-24 ブンゾビル) 会費：6,000円

●定員：会場100名/オンライン視聴50名

*オンラインで参加される方は、インターネットに常時接続できる環境や、ZOOMを起動させるためのパソコンやタブレット等の機器をご用意ください。

●対象者：正会員、賛助会員、ホームホスピスの学校受講生

ホームホスピスに関心のある方や開設を考えている方など。一般の方が参加される場合は、受付時に賛助会員(年会費5,000円)へのご登録をお願いしております。

●受講料：5,000円(7月13日のみ3,000円 7月14日のみ3,000円)

●申込方法：協会ホームページ(トップページ)から「第8回育成塾のご案内」をクリックし、PassMarketにてチケットを購入。

●締切：6月20日(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

- ・参加費の入金確認ができ次第受付完了となります。お早めにお申し込みください。
- ・申し込まれた方の都合でキャンセルされた場合、原則、返金はありません。

【オンラインでご参加の皆様へ】

- ・研修参加のためのURLやパスワードは、メールにて連絡します。
- ・申し込み後、開催日1週間前までに協会から連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。

【お問合せ先】

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局 (月～金 10:00～17:00)

〒880-0913 宮崎市恒久2-19-6 TEL 0985-65-8087 FAX 0985-53-6054

email seminar@homehospice-jp.org



ご案内ページ

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第8回 ホームホスピス実践者育成塾プログラム

7月13日（土） オンラインと会場の併用

一人ひとりの生活を整える

時間	テーマ	内容	講師
13:30～	開会	全国ホームホスピス協会理事長によるご挨拶	市原 美穂
13:40～14:40	最期まで口から食べるを支える —看取りを見据えた口腔ケア 食支援—	「ホームホスピスの基準」の「日々の個別ケア 一人ひとりの生活のリズムを整える」では、食事について「最期まで口から食べることを大切にしている」、排泄については「個々の排泄パターンを把握している」と明記しています。 この二つのケアは人の尊厳に関わる介護の基本であり、健康維持や認知症の改善にもつながり、現場スタッフが日々取り組み、試行錯誤を繰り返す課題です。	園田 隆紹
14:50～15:50	自然な排便習慣を大切に —個々の排泄パターンを把握し、 気持ちよく出すケア—		馬場 美代子
16:00～17:30	グループワーク	(1) 家族ケア—「困難事例への向き合い方はどうしてる？」 (2) その人らしい看取りとは—「その人らしさとは？」 (3) ホームホスピスの理念の周知—「ケアを語っていますか？」 (4) とも暮らしとは—「どんな時に感じ、大切にしていることは？」 (5) ホームホスピスにおけるACPの実際—「会話と対話とは？」	*ファミリーテーター =理事及び認定 ホームホスピス の管理者
18:00～20:00	交流会		



7月14日（日） オンラインと会場の併用

いま、ホームホスピスに求めるもの

時間	テーマ	内容	講師
9:00～10:00	「島で最期まで暮したい」	2014年に順天堂大学医学部を卒業。ゲネプロが運営する「離島・へき地研修プログラム」で離島医療を経験し、2019年、鹿児島県薩摩川内市の離島・下甕島にある下甕手打診療所副所長に就任。2022年4月からは、下甕島で農業を中心に、島民の方々のちょっとした困り事を解決する生活支援サービスを始めている。「患者さんが望むように生きることをサポートする」ことを理念に大好きな下甕島で活躍する。	室原 誉伶
10:10～11:20	10年後、20年後のホームホスピスは？ ホームホスピスに期待すること	10年後、20年後のホームホスピスはどのような役割を担うのか。そのヒントを、高齢化率が高く、制度内の社会的資源が乏しい下甕島での室原医師の活動にたずねる。	室原 誉伶 高橋 紘士
11:30	閉会	開催期間中に、熊本県や福岡県のホームホスピス見学をご希望の方は、申し込みフォームの「特記事項」に、希望ホームホスピス名をご記入ください。	



そのだ たかあき
園田 隆紹

共愛歯科医院
副理事長

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士。摂食嚥下（嚥下機能評価・訓練）を行いながら、現在その研究に携わり、セミナー講師や地域啓蒙活動にも力を入れている。通院できない患者さんの家や施設、病院を積極的に訪問し、コミュニケーションをとり、治療や症状改善につなげている。



ばば みよこ
馬場美代子

いえ
一般社団法人居笑 理事

“地域住民の皆様が最期の時まで笑って過ごせる居場所づくり”を基本理念に佐賀市東与賀町で活動。訪問看護センターびりーぶ、看護小規模多機能びりーぶの代表。榊原千秋さんのPOOマスターの受講生で、マスターの資格をもつ。



むろはら
室原 誉伶

しもこしきてうち
下甕手打診療所所長

1989年熊本生まれ。東京での研修医修行を経て、総合診療や地域医療に興味を抱きゲネプロに参加。上五島、モンゴル、西ノ島を経て、2020年に下甕島へ。1年間の休業期間を経て2023年4月より下甕手打診療所所長に就任。毎月1週間は実家である菊南病院（熊本市）で働きながら、4児の父として家族とともに島暮らしを楽しんでいる。